



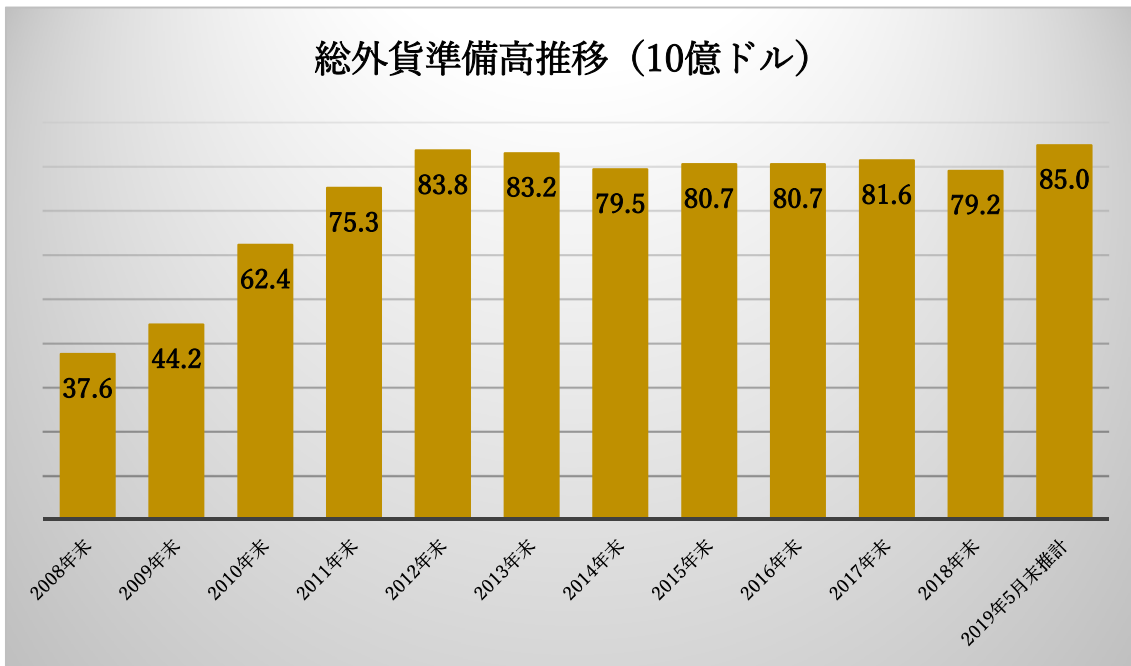
<CAM フィリピン・リサーチ・レポート>

2019年6月10日

フィリピンの外貨準備高

フィリピン中央銀行によると、2019年5月末の総外貨準備高（速報値）は850億2,250万ドル（約9兆1,980億円）となった。4月末から約11億ドルの増加で7カ月連続増、2年7カ月ぶりの高水準となった。政府の外貨預金、中央銀行の外貨運用・海外投資収益・保有する金の評価益増による資金流入が政府の外貨建て債務の償還による資金流失を大幅に上回った。

同行によるとこの5月末の外貨準備高は、輸入の7.5カ月分、短期対外債務の5.1倍に相当し、十分な流動性を確保していると言える。



出所：フィリピン中央銀行

以上